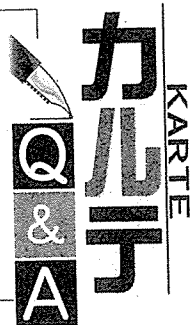


「老人性乾皮症」なのか、お風呂に入ると特にかゆくなります。太ももなどを血が出るほどかきます。専用の薬を塗っていますが、あまり効果がありません。症状は下半身のみです。病院を受診すべきでしょうか。ほかに良い方法はないのでしょうか。(72歳、男性)



## 皮脂欠乏性皮膚炎

老人性乾皮症とは加齢で皮膚が薄くなるとともに、皮脂や汗の分泌が減って皮膚がカサカサの状態になる疾患です。空気が乾燥しやすい秋冬、主に腰や脚の皮膚の表面が粉を吹いたようになり、この状態が長く続くと、皮膚の真皮にあるかゆみを知

## 熱い湯、長時間の入浴避けて

覚する神経線維がその外側の表皮に伸び、少しの刺激にも過敏に反応し、かゆみや皮膚炎が生じやすくなります。これを放置し、かきむしるなどして悪化させてしまうと「皮脂欠乏性皮膚炎」、また二次感染を伴うと円形から楕

円形のジクジクした「貨幣状湿疹」と呼ばれる皮膚炎になります。さらに細菌感染で変性した皮膚の成分や細菌の毒素などにアレルギー反応が起きると、発疹が全身に広がる「自家感受性皮膚炎」になることもあります。日常生活での注意点は皮

オルですり過ぎないように気をつけてください。食生活の面では刺激の強い香辛料やアルコールの摂取はかゆみが強くなるため、控えましょう。治療としては、症状が軽い場合はヘパリン類似物質や尿素を含有する塗り薬などで症

膚の乾燥を防ぐために、冬季には加湿機などを用いて室内を適度な湿度(40〜60%)に保つことが大切です。入浴にも注意が必要で、熱いお湯での長時間の入浴は避け、洗浄力の強いせっけんではなく弱酸性のものを使用し、たわしやナイロンなどの硬いタ

状が落ちつきませんが、悪化して皮脂欠乏性皮膚炎や貨幣状湿疹などになってしまつとステロイド含有軟こうや抗ヒスタミン剤、アレルギー剤の内服などが必要となることがあります。ご相談の方はかゆみが強く、かいて出血するほどの

ことで、老人性乾皮症が悪化して皮脂欠乏性皮膚炎になったと推測されます。適切な治療が必要ですので、皮膚科専門医を受診することをお勧めします。

(兵庫県医師会、田中靖二  
神戸市、たなか皮フ科・形成  
外科院長)  
◇第1、3、4日曜に掲載  
します。